

# 景気見通し調査結果報告書

調査期間 平成 27 年 12 月

小 松 商 工 会 議 所

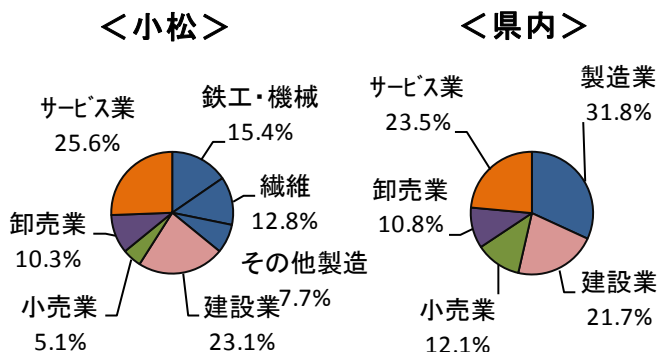
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 225社

回収率 78企業（回収率 34.7%）

業種	小松	県内
鉄工・機械	12	142
繊維	10	
その他製造	6	
建設業	18	97
小売業	4	54
卸売業	8	48
サービス業(運輸含む)	20	105
合計	78	446



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※DI 値 ……DI (デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数  
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期……平成 27 年度第 2 四半期(平成 27 年 7 月～9 月)

今 期……平成 27 年度第 3 四半期(平成 27 年 10 月～12 月、但し 12 月は見込み)

来 期……平成 27 年度第 4 四半期(平成 28 年 1 月～3 月)

【各項目別の DI 値の意味について】

- (1)景 況 感………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高………DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価………DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益)………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好 調	3	2	3	0	1	1	1	0	0	0	1	1	3	2
不 変	7	7	4	6	3	3	10	9	3	3	5	5	13	12
悪 化	2	3	3	4	2	2	6	8	1	1	2	2	4	4
無回答							1	1						2
総 計	12		10		6		18		4		8		20	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

新規取引先(業界)の増加 (製造業)
受注残が 2016 年までであること、また引き合いが多いことから (製造業)
生産台数の増加により判断 (製造業)
観光バス製造・生産拡大による (製造業)
内地の景気が悪い。輸出出来る企業は儲かるだろう (製造業)
排ガス規制の駆け込み需要の反動や、中国経済の減速からくる長期在庫(過剰在庫)などの反動で、建機市場は不況である(製造業)
全国的な設備投資に支えられて良好。設備投資補助金などで多忙 (製造業)
受注数量の減少、納期の偏り (製造業)
当社の状況判断 (製造業)
中国向けが非常に悪い (製造業)
見通しがよくない (製造業)
来期も見通し悪いと客先より情報が入っている (製造業)
建機の落ち込みが大きい (製造業)
天候悪化 (製造業)
良くても悪くても変わらない (建設業)
受注量が今と変わらない (建設業)
コマツの状態が悪い。次年度も見込めない (建設業)
受注量の低下 (建設業)
細かい仕事ではあるが、客からの問い合わせが増えた (建設業)
公共工事が減少している (建設業)
今年は、公共工事の発注量が非常に少ない (建設業)
仕事が全体に少ない (建設業)
建設業の売上は、完成引渡して、売上になるので、これから天候次第で大幅に、売上・資金繰り・経費等変わってくるので受注がよくてもわからない (建設業)
業務店への売上 (卸売業)
一般家庭の生活水準が全く向上していない (卸売業)
世界的な資源安(石油・鉄鉱石・石炭)に歯止めがかからず、中国の景気停滞と鉄鋼製品の安値輸出の為、鉄スクラップ価格の下落が続いている。H26.1月 3,500/t製鉄メーカー購入価格 (卸売業)
原油価格低下による販売価格の暴落、中国経済の減速→関連製造業の稼働状況低下→石油製品の需要減退 (卸売業)
消費税の増税感から家庭消費支出が伸びていない (小売業)
小松空港の弱体化 (小売業)
全てのものが値上がりしてきている。特に畜産、水産品。売価の上乗せができないので、困っている。特に学校給食等は 4 月の見積り通りなので欠損するのもある (小売業)
マイナス要因として、例年にない気温の高さ、地元と基幹産業の業績悪化 (小売業)
サービス業として売上は順調に推移しているが、2極化は感じられるため (サービス業)
当社の売上等は季節(特に天候や気温)の変動による影響が多いので冬場の方がよい(サービス業)
問い合わせや、予約が多い (サービス業、好転→不変)
建設需要や消費物流(日用雑貨)が多盛であり、物量全体が増えている。又燃料価格が低価安定しており採算性を良くしている (サービス業)
引き続き北陸新幹線の影響により売上増加 (サービス業)
客の町の歩きが多い様だ (サービス業)

北陸新幹線開業に伴う旅客減少による影響が続いているため（サービス業）
今年は北陸新幹線金沢開業効果で国内旅行は石川県に注目が向けられるが、来年3月に北海道新幹線函館開業があり、JRや大手旅行会社は函館に注目していて、北陸は宿泊施設や運輸業は下降線をたどると思う（サービス業）
中小企業が関与先であるため、取引先の収入増加が見込めないと当所に影響がない。又、新規の顧客が増えないし、廃業が少しずつ増加（サービス業）
取引先である建設業、繊維業の売上、利益減少傾向にあるため（サービス業）

(1)-2 DI値

(単位: DI)

		前期		今期		来期	
		小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	鉄工・機械	▲ 53.8	—	8.3	—	▲ 8.3	—
	繊維	▲ 20.0	—	0.0	—	▲ 40.0	—
	その他製造	▲ 36.4	—	▲ 16.7	—	▲ 16.7	—
	製造計	▲ 38.2	▲ 6.9	0.0	7.7	▲ 21.4	▲ 21.6
非製造業	建設業	▲ 38.5	▲ 18.3	▲ 29.4	▲ 16.5	▲ 47.1	▲ 34.7
	小売業	▲ 57.1	▲ 9.3	▲ 25.0	▲ 23.1	▲ 25.0	▲ 27.5
	卸売業	0.0	▲ 12.8	▲ 12.5	▲ 10.4	▲ 12.5	▲ 15.2
	サービス業(運輸含む)	0.0	15.0	▲ 5.0	10.6	▲ 11.1	▲ 5.0
	非製造計	▲ 22.0	▲ 4.5	▲ 16.3	▲ 7.3	▲ 25.5	▲ 20.2
全体		▲ 29.3	▲ 5.3	▲ 10.4	▲ 2.5	▲ 24.0	▲ 20.6
改善予測		14.4	▲ 3.0	▲ 13.6	▲ 18.2	—	—

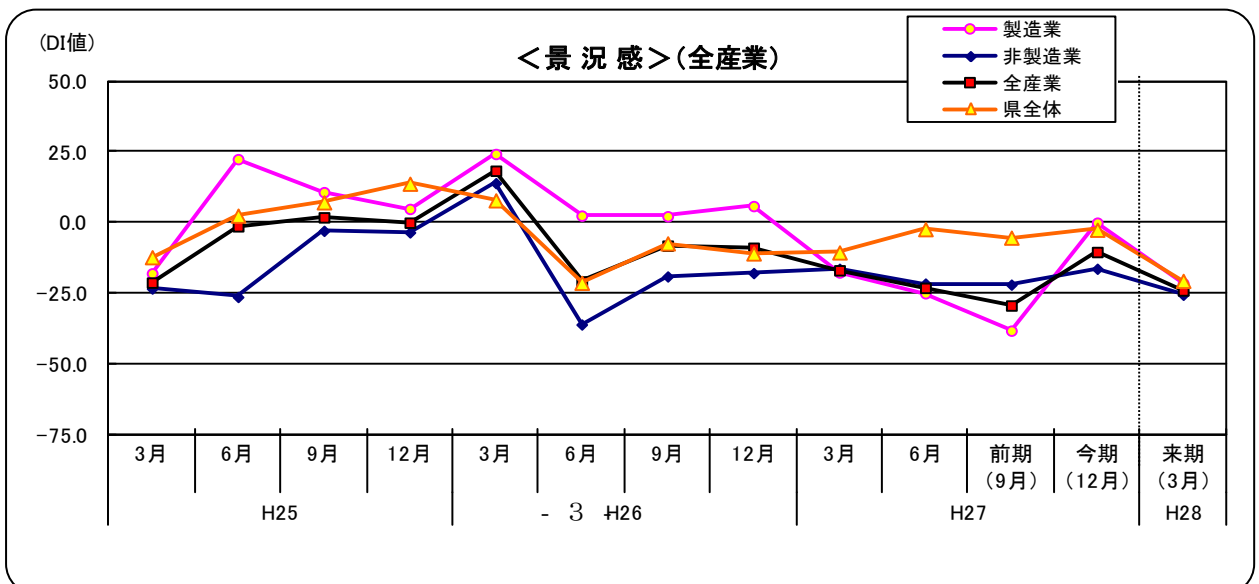
※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

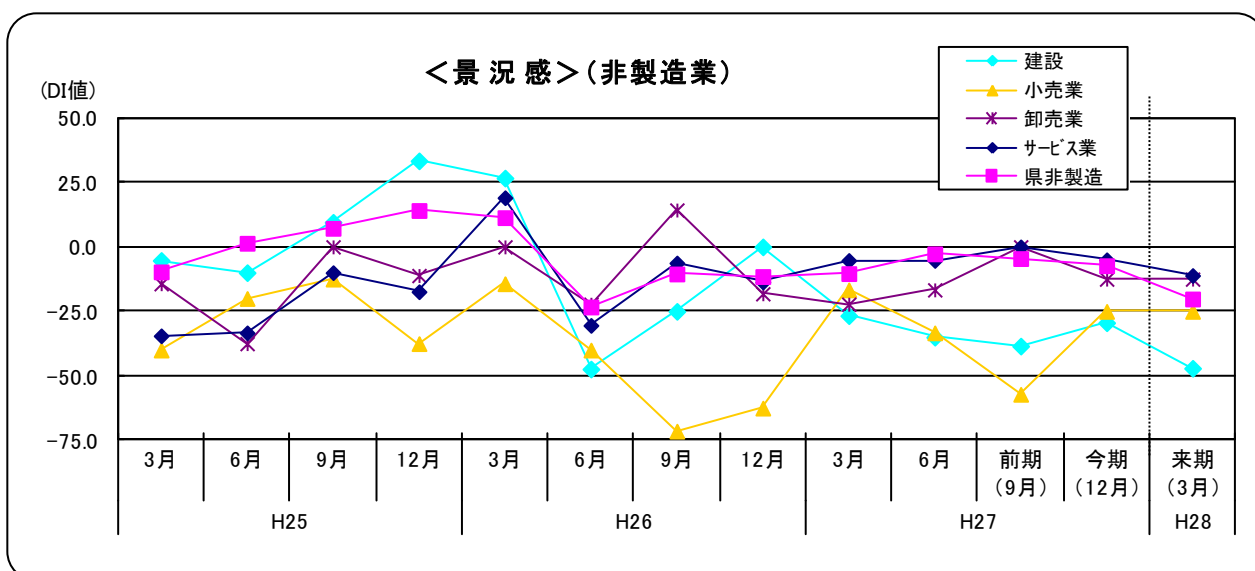
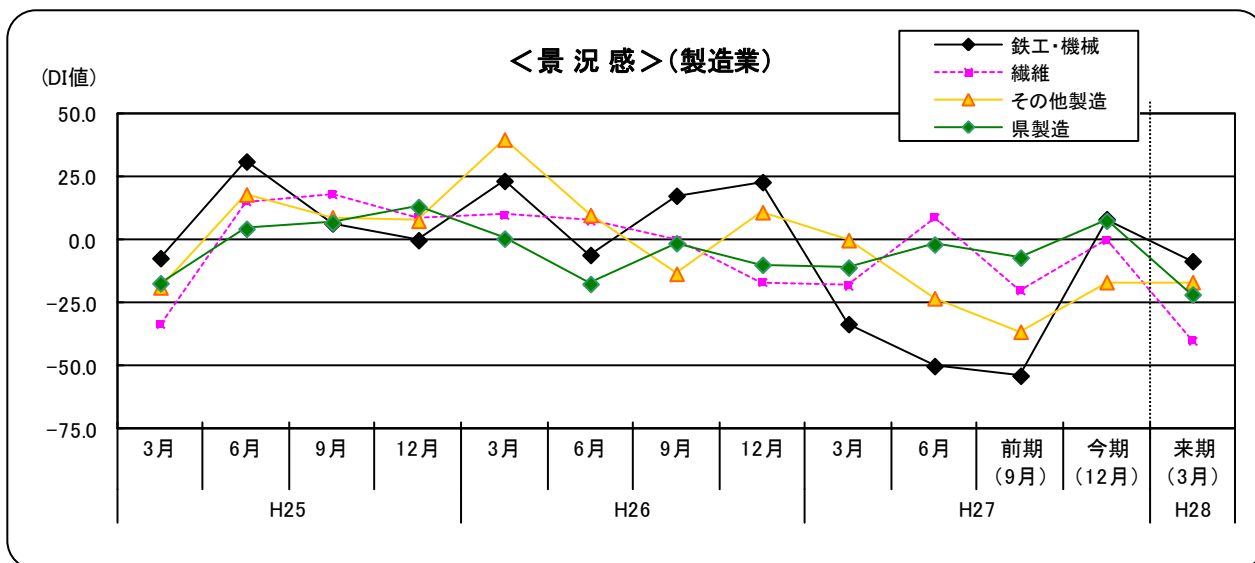
製造業については、鉄工・機械では前期▲53.8ポイントだったが、今期は8.3ポイントと回復。

来期は▲8.3ポイントと悪化の見通しを示している。繊維においては前期が▲20.0ポイントであったが、今期は0.0ポイントと回復、来期が▲40.0ポイントと悪化の見通しを示している。その他製造業においては、前期から今期にかけて回復しており来期は現状維持見込みであることが伺える。

非製造業については、建設業が前期▲38.5ポイントから今期▲29.4ポイントと回復傾向にあるが、来期は▲47.1ポイントと依然厳しい予測が伺える。小売については今期▲25.0ポイント回復、卸売は12.5ポイント悪化、サービス業も5.0ポイント悪化となっており、総じて依然厳しい状況が続いていることが伺える。

(1)-3 年代別の推移





(単位:DI)

区分	今期(H27.12)			来期(H28.3)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	0.0	11	4	▲ 21.4	▲ 3	▲ 1	28社
非製造業	▲ 16.3	16	13	▲ 25.5	▲ 3	▲ 7	50社
全体	▲ 10.4	13	9	▲ 24.0	▲ 3	▲ 3	78社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(2) - (5) 売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(第3四半期)の状況

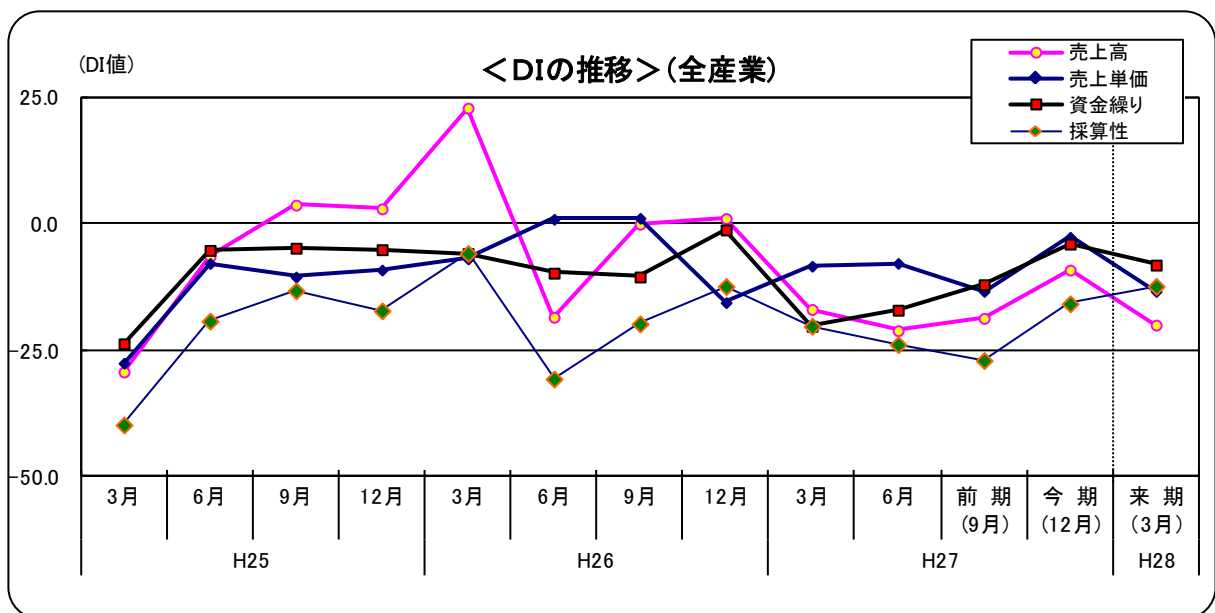
(単位:DI)

業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	10.7	13.5	14.3	0.0	3.6	2.8	0.0	8.5
建設業	▲ 41.2	▲ 15.5	▲ 23.5	▲ 15.6	▲ 25.0	▲ 10.4	▲ 37.5	▲ 18.8
小売業	▲ 25.0	▲ 19.2	▲ 25.0	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 25.0	▲ 23.1
卸売業	12.5	6.3	▲ 12.5	0.0	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 2.1
サービス業	▲ 15.0	8.7	0.0	1.0	10.0	12.7	▲ 15.0	4.8
全体	▲ 9.1	1.4	▲ 2.6	▲ 6.8	▲ 3.9	▲ 0.7	▲ 15.8	▲ 3.2

来期(第4四半期)の見通し

(単位:DI)

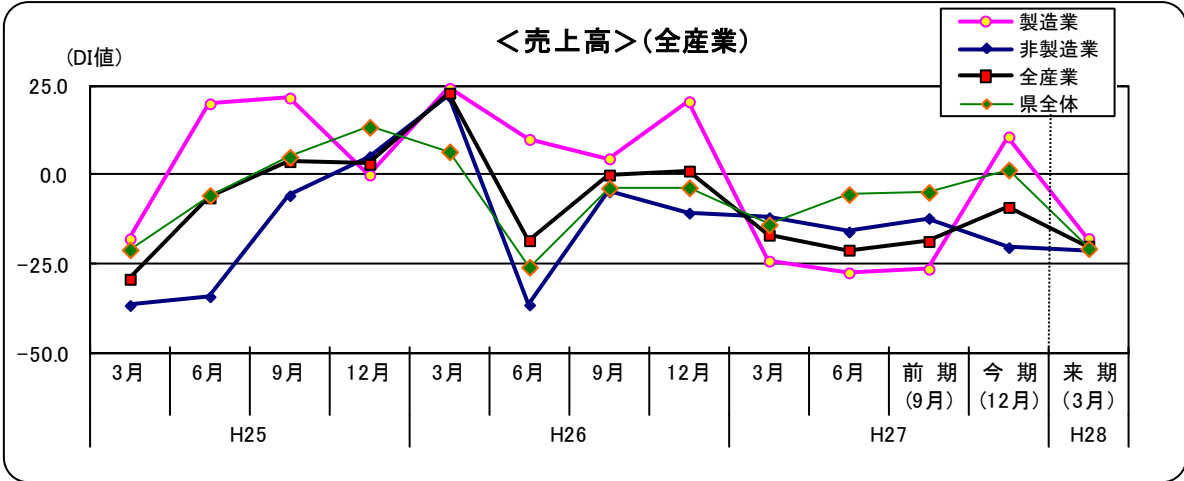
業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	▲ 17.9	▲ 16.7	7.1	▲ 5.1	▲ 7.1	▲ 3.6	▲ 7.4	▲ 16.3
建設業	▲ 47.1	▲ 37.9	▲ 23.5	▲ 17.0	▲ 25.0	▲ 20.2	▲ 37.5	▲ 33.0
小売業	▲ 75.0	▲ 31.4	▲ 75.0	▲ 21.6	0.0	▲ 3.9	0.0	▲ 23.5
卸売業	0.0	▲ 19.6	▲ 37.5	▲ 10.6	▲ 12.5	▲ 4.3	▲ 25.0	▲ 10.6
サービス業	5.6	▲ 5.1	▲ 11.1	▲ 11.1	5.6	▲ 3.1	5.6	▲ 7.0
全体	▲ 20.0	▲ 20.7	▲ 13.3	▲ 11.7	▲ 8.1	▲ 7.3	▲ 12.3	▲ 18.0
改善予測 (今回)	▲ 10.9	▲ 22.1	▲ 10.7	▲ 4.8	▲ 4.2	▲ 6.6	3.5	▲ 14.9
改善予測 (H27.9)	5.0	2.7	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.9	6.5	1.2
改善予測 (H27.6)	27.8	6.3	3.3	1.5	7.8	▲ 0.8	20.5	2.8



(2) 売上高

(単位:DI)

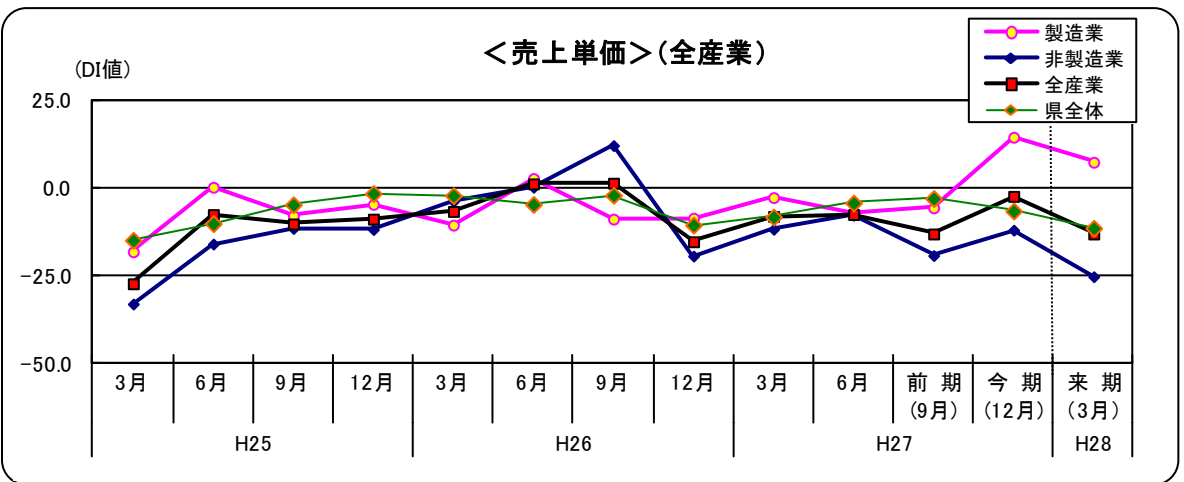
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 17.9	▲ 47.1	▲ 75.0	0.0	5.6	▲ 21.3	▲ 20.0	▲ 20.7
今期	0.0	30.0	0.0	10.7	▲ 41.2	▲ 25.0	12.5	▲ 15.0	▲ 20.4	▲ 9.1	1.4
前期	▲ 46.2	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 26.5	▲ 23.1	▲ 28.6	0.0	0.0	▲ 12.2	▲ 18.7	▲ 4.9



(3) 売上単価

(単位:DI)

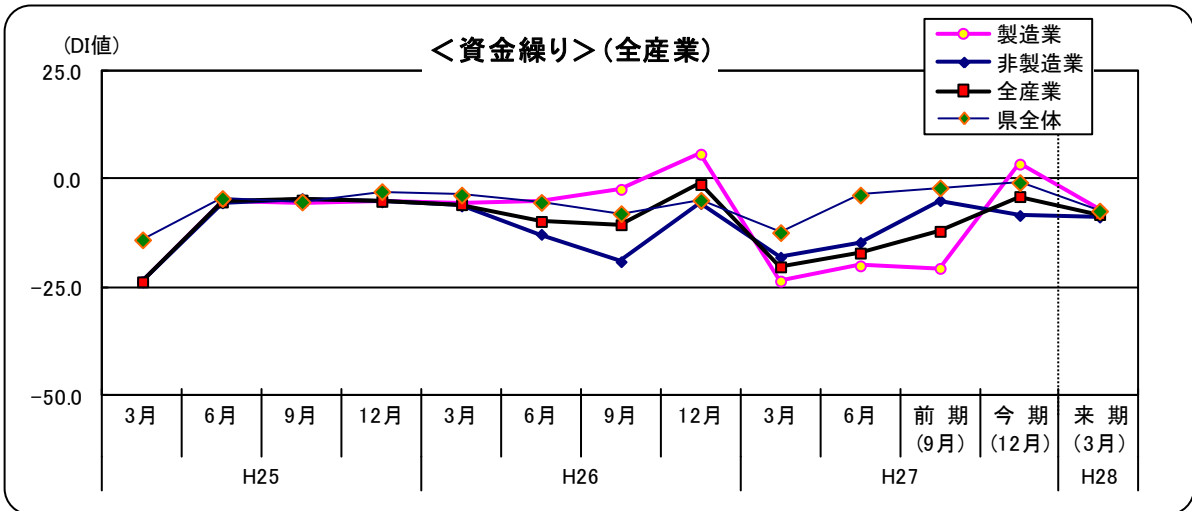
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	16.7	0.0	0.0	7.1	▲ 23.5	▲ 75.0	▲ 37.5	▲ 11.1	▲ 25.5	▲ 13.3	▲ 11.7
今期	8.3	20.0	16.7	14.3	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 12.5	0.0	▲ 12.2	▲ 2.6	▲ 6.8
前期	▲ 7.7	0.0	▲ 9.1	▲ 5.9	▲ 23.1	▲ 57.1	0.0	▲ 6.3	▲ 19.5	▲ 13.3	▲ 3.2



(4) 資金繰り

(単位: DI)

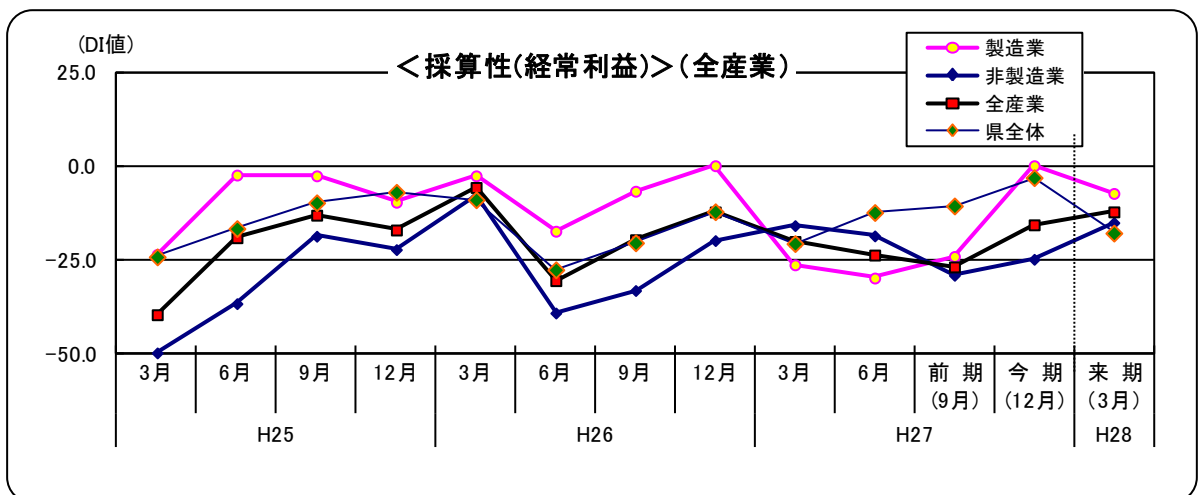
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 8.3	▲ 10.0	0.0	▲ 7.1	▲ 25.0	0.0	▲ 12.5	5.6	▲ 8.7	▲ 8.1	▲ 7.3
今期	8.3	▲ 10.0	16.7	3.6	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 12.5	10.0	▲ 8.3	▲ 3.9	▲ 0.7
前期	▲ 30.8	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 20.6	▲ 7.7	▲ 14.3	▲ 20.0	6.3	▲ 4.9	▲ 12.0	▲ 1.9



(5) 採算性(経常利益)

(単位: DI)

	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	0.0	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 7.4	▲ 37.5	0.0	▲ 25.0	5.6	▲ 15.2	▲ 12.3	▲ 18.0
今期	▲ 8.3	10.0	0.0	0.0	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 3.2
前期	▲ 46.2	▲ 20.0	0.0	▲ 24.2	▲ 38.5	▲ 71.4	20.0	▲ 18.8	▲ 29.3	▲ 27.0	▲ 10.8

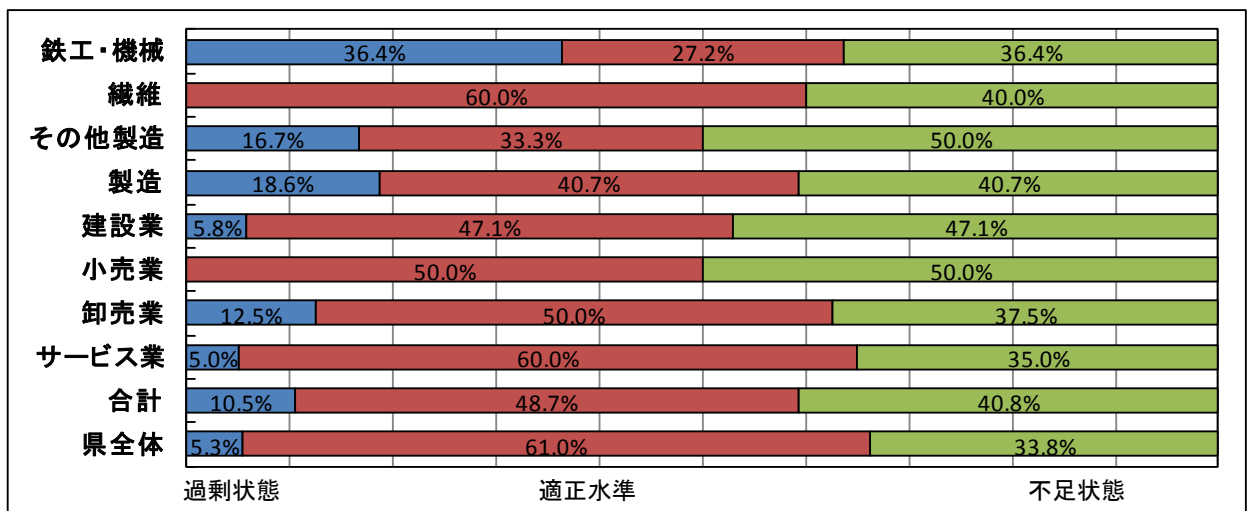




## 雇用情勢

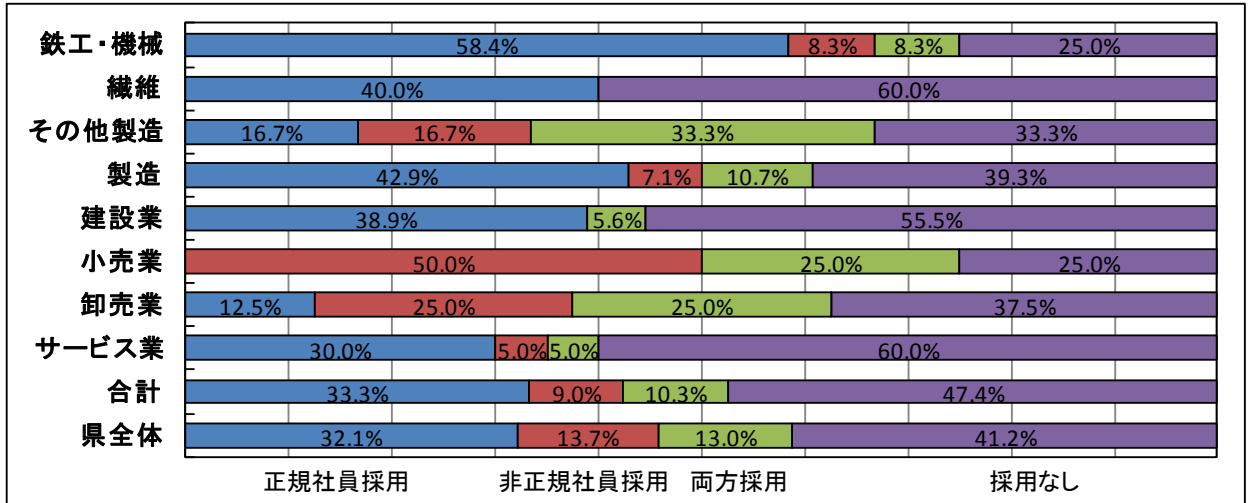
1. 現在の雇用状況については、どの状態と思われますか。

	過剰状態		適正水準		不足状態	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	36.4%		27.2%		36.4%	
繊維	0.0%		60.0%		40.0%	
その他製造	16.7%		33.3%		50.0%	
製造業	18.6%	7.9%	40.7%	64.0%	40.7%	28.1%
建設業	5.8%	4.2%	47.1%	63.5%	47.1%	32.3%
小売業	0.0%	5.8%	50.0%	61.5%	50.0%	32.7%
卸売業	12.5%	4.2%	50.0%	77.1%	37.5%	18.8%
サービス業(運輸含む)	5.0%	2.9%	60.0%	46.6%	35.0%	50.5%
全体	10.5%	5.3%	48.7%	61.0%	40.8%	33.8%



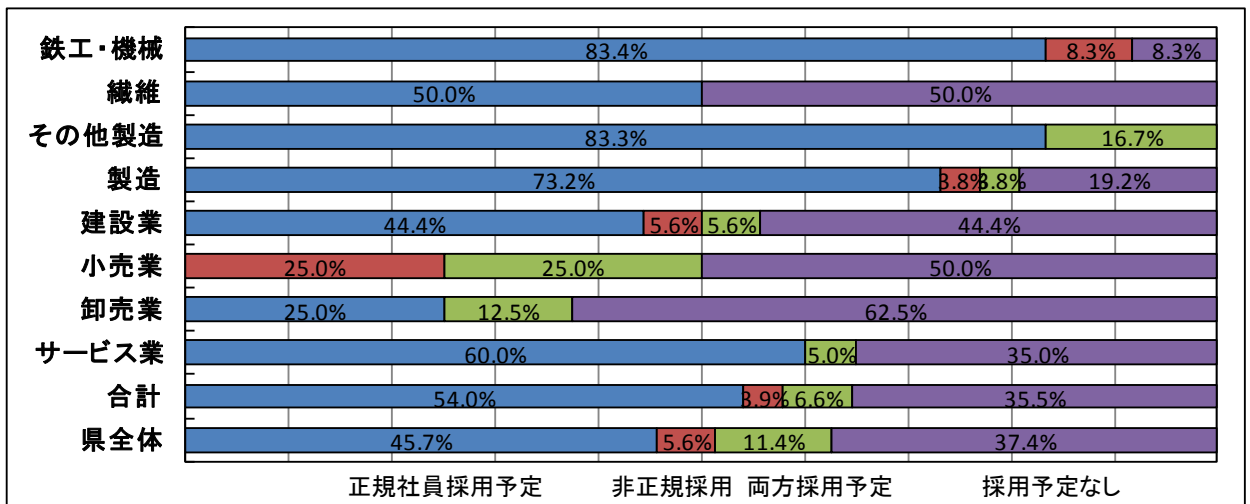
2. 今期度に社員の中途採用を行ないましたか。

	正規社員採用		非正規社員採用		両方を採用		両方の採用なし	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	58.4%		8.3%		8.3%		25.0%	
繊維	40.0%		0.0%		0.0%		60.0%	
その他製造	16.7%		16.7%		33.3%		33.3%	
製造業	42.9%	35.3%	7.1%	14.4%	10.7%	18.0%	39.3%	32.4%
建設業	38.9%	40.2%	0.0%	3.1%	5.6%	5.2%	55.5%	51.5%
小売業	0.0%	20.8%	50.0%	17.0%	25.0%	3.8%	25.0%	58.5%
卸売業	12.5%	33.3%	25.0%	12.5%	25.0%	20.8%	37.5%	33.3%
サービス業(運輸含む)	30.0%	25.5%	5.0%	21.6%	5.0%	14.7%	60.0%	38.2%
全体	33.3%	32.1%	9.0%	13.7%	10.3%	13.0%	47.4%	41.2%



3. 来年度(H28年度)4月に社員の雇用を予定していますか。

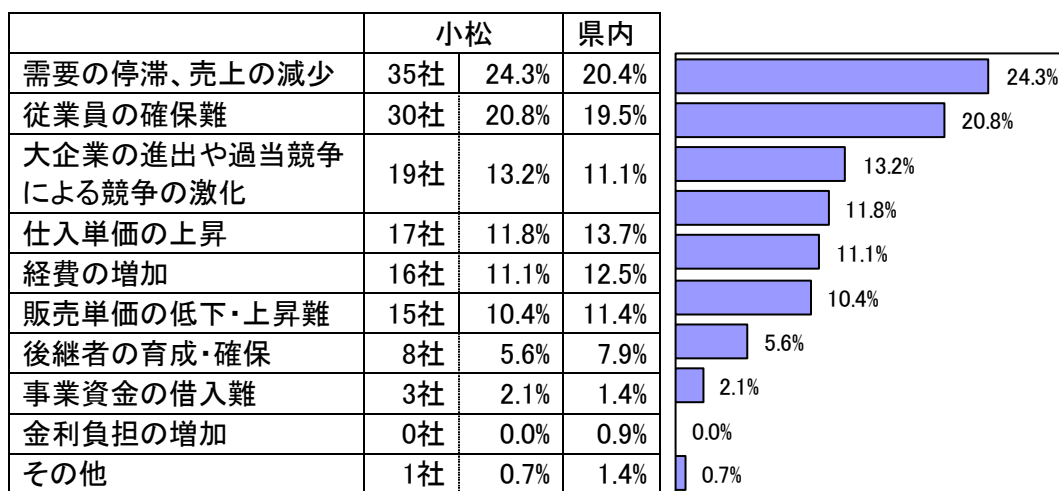
	正規社員採用		非正規社員採用		両方採用予定		両方予定なし	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	83.4%		8.3%		0.0%		8.3%	
繊維	50.0%		0.0%		0.0%		50.0%	
その他製造	83.3%		0.0%		16.7%		0.0%	
製造業	73.2%	56.5%	3.8%	5.1%	3.8%	10.1%	19.2%	28.3%
建設業	44.4%	47.8%	5.6%	5.6%	5.6%	4.4%	44.4%	42.2%
小売業	0.0%	23.1%	25.0%	9.6%	25.0%	7.7%	50.0%	59.6%
卸売業	25.0%	47.9%	0.0%	2.1%	12.5%	12.5%	62.5%	37.5%
サービス業(運輸含む)	60.0%	39.8%	0.0%	5.8%	5.0%	20.4%	35.0%	34.0%
全体	54.0%	45.7%	3.9%	5.6%	6.6%	11.4%	35.5%	37.4%



Q. 雇用に関するご意見がございましたら、お聞かせ下さい。

新卒高校生の2名を考えたが、不調に終わった。今後に不安(製造業)
現在求職数の減が感じられる。技術者不足(建設業)
現状と報道の差が大きい。新卒向けの解禁時期の影響をもちに受けた。どの企業も良い人材が欲しいのはあたりまえ。全体に求人意欲が高いと言うものの良い人材でなければならないと言っているのに、すべてにおいて就職が容易だと誤解する報道がされていて、よい学生が集まらない (製造業)
他県より進出してきた企業は時給が高いのでなかなか雇用が難しくなっている(製造業)
外国人研修生の採用(製造業)
人材を紹介してほしい(製造業)
新卒の採用がかなわなかった(製造業)
人材が少ない(中小企業には厳しい)(製造業)
学校に依頼しても大企業優先で、こちらに良い人材を紹介していただけない(建設業)
昨年あたりから急に希望者が来なくなった、工場や事務関係系に集中傾向があるようだが(景気がよくなると)業界として対応していきたい(建設業)
人材がない(建設業)
主に営業職、専門職(宅建主任者、建築士)を求めているが、同業者の口コミ紹介で面接している。年度より、その都度です(建設業)
新規採用(パート、アルバイト)が厳しい状況(小売業)
賃金上昇に苦労している(卸売業)
深刻なドライバー不足(卸売業)
当社業務に合う新規社員(学卒を含んで)が求め難い状況が続いて、困っている(サービス業)
採用もしたが、退職者もおり、中々欠員が補充されないのが現状だが、賃金を上げるわけにもいかず、苦労が強いられている。(サービス業)
アルバイト社員がおらず、正規社員を入れた(サービス業)

今期(第3四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)



Q「経営上の問題点」の項目における「10. その他」の意見

職人不足(建設業)

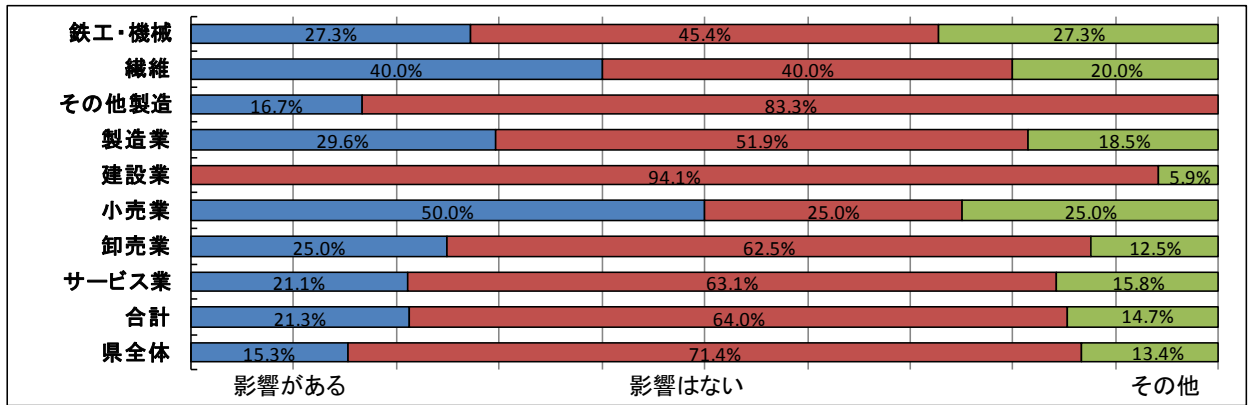
Q「経営上の問題点」の項目における「具体的な問題点」

優秀な人材が不足しているから(製造業)
生産台数増加による人員確保(製造業)
建機関係の売上が減少している(製造業)
機械並びに設備機器の老朽化により補修費を含む経費の増加(製造業)
高齢化・少子化・未婚者の増加。これからの対策を考えたい(製造業)
公共事業の減少(建設業)
公共工事の発注量を増やしてほしい(建設業)
技術者不足(建設業)
今年、石川県にはかつてないほどの大型プロジェクトがあるが、大型過ぎて地元企業には手が出せない。また、そのプロジェクトに人(職人)が取られ、人手不足が発生し、深刻な状態となっており、凄いチグハグ感がある(建設業)
大工職人の不足による、工期の遅れ(建設業)
賃金上昇による経費の増加(卸売業)
従業員の募集をかけても来ない(卸売業)
鉄スクラップの発生量の減少と販売単価の低下により売上の減少が大きく問題である(卸売業)
需要頭打ちの中で、同業他社との競争激化(サービス業)
低金利競争(サービス業)
企業間競争が激しく、運賃の上昇は見込めない(サービス業)
通常業務の値上げはできない(サービス業)
金沢の影響で仕入単価の上昇(サービス業)
学校側には当社の要望を伝えてあるが、その条件に合う学生の応募がない(サービス業)
仕事はあっても人員不足で断っており、ビジネスチャンス逃している(サービス業)
金沢に飲食店が増え、調理人をとられる(サービス業)

TPPIについて

本年10月、TPP(環太平洋地域による戦略的経済連携協定)参加12カ国の大筋合意がなされ、現在、協定発効に向けての作業が進められております。TPP発効後、貴社にとって影響があると思われますか。

	影響がある		影響はない		その他	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	27.3%		45.4%		27.3%	
繊維	40.0%		40.0%		20.0%	
その他製造	16.7%		83.3%		0.0%	
製造業	29.6%	22.1%	51.9%	63.2%	18.5%	14.7%
建設業	0.0%	8.6%	94.1%	81.7%	5.9%	9.7%
小売業	50.0%	14.0%	25.0%	68.0%	25.0%	18.0%
卸売業	25.0%	14.9%	62.5%	70.2%	12.5%	14.9%
サービス業(運輸含む)	21.1%	13.0%	63.1%	75.0%	15.8%	12.0%
全体	21.3%	15.3%	64.0%	71.4%	14.7%	13.4%



Q「TPP発効後における影響」の項目における具体的な意見

①影響がある

今はないが将来的には輸出入が容易になると思う(製造業)
清酒の輸出が増える可能性あり(製造業)
好影響を期待(製造業)
輸入は良い傾向、輸出は海外との競争 (製造業)
海外拠点が2カ所あるから(製造業)
繊維製品の貿易が活発になる(製造業)
価格と係わる部分、安全性係わる部分(小売業)
材料価格の低下を期待(小売業)
小麦の政府売り渡し価格による(卸売業)
国内産青果物の単価安→売上金額減になる可能性あれ(卸売業)
相手国の関税撤廃により日本の差別化素材が広がる(サービス業)
見通し影響予想困難(サービス業)
輸出入による物量が増大してくると思われる(サービス業)
具体的にと言われても、今後の見通しが明白でない(サービス業)
関与先の売上の動向が減少になれば、当所に影響する(サービス業)

②影響はない

直接輸入品目に関係なし(製造業)
業種的に関係ない(製造業)
競合する商品が無い。或いは少ない(製造業)
農業、林業界の活性化が必要。人手不足の解消(製造業)
顧客に TPP の影響を受ける所が少ない(サービス業)

③その他

輸入部品の単価引き下げ期待はある(製造業)
食品単価が上がればいい(サービス業)
わからない

Q. TPPに関してご意見がございましたらお聞かせ下さい。

当社は世界的にも競争があると思うので撤廃大賛成(製造業)
この方向で未来は向かうので間違いは無い(製造業)
知恵をしぼって前向きに変化に対応していかなばならない(製造業)

中小企業に具体的に分かりやすく説明してほしい(製造業)
仕入の低下により、より一層の競争がある市場の活性化とつながる(卸売業)
国策やマクロ経済としては推進すべき(小売業)
国は農業が強くなるべきと考える。今回の TPP で農業がはたして構造改革して強くなるか不明。全ての産業が強くなる事は想定できない(サービス業)
全ての分野で日本の国益を守るよう、頑張してほしい(サービス業)

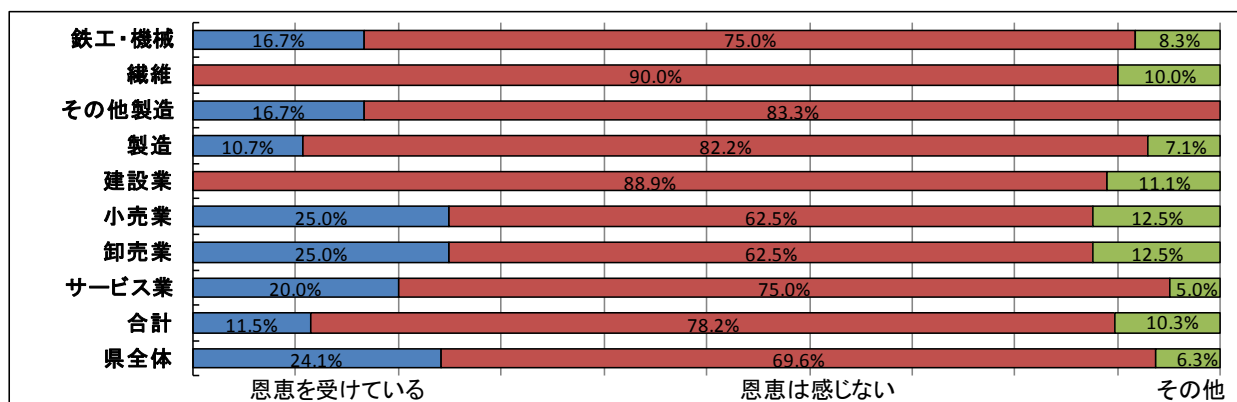
北陸新幹線開業に伴う貴社への影響について(追跡調査)

北陸新幹線開業に伴う、貴社への影響

	恩恵を受けている		恩恵は感じない		その他	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	16.7%		75.0%		8.3%	
繊維	0.0%		90.0%		10.0%	
その他製造	16.7%		83.3%		0.0%	
製造業	10.7%	23.6%	82.2%	68.1%	7.1%	8.3%
建設業	0.0%	11.5%	88.9%	80.2%	11.1%	8.3%
小売業	25.0%	20.8%	62.5%	75.5%	12.5%	3.8%
卸売業	25.0%	34.0%	62.5%	61.7%	12.5%	4.3%
サービス業(運輸含む)	20.0%	33.7%	75.0%	62.5%	5.0%	3.8%
全体	11.5%	24.1%	78.2%	69.6%	10.3%	6.3%

参考(H26.9 調査)

恩恵を受けている	
小松	県内
7.7%	
0.0%	
27.3%	
11.8%	23.0%
0.0%	5.6%
20.0%	15.4%
20.0%	39.5%
12.5%	37.9%
9.3%	22.8%



Q「北陸新幹線開業に伴う影響」の項目における具体的な意見

1. 開業効果の恩恵を受けている

関東や東北方面への出張の選択肢が増えた(製造業)
北関東の顧客と案件の増加(製造業)
金沢地区での売上増(製造業)
金沢の店舗は売上好調(卸売業)
売上が増加した(サービス業)

菓子業界で好調であり、製品輸送が増えている(サービス業)
2組団体客が来店(サービス業)
顧客に恩恵を受けている所がある(サービス業)

## 2. 開業効果の恩恵は感じない

雇用がしにくくなった(製造業)
コマツ協力企業と新幹線との因果関係なし(製造業)
地元中心の持家住宅対象であるため(製造業)
取引先が少ないため(製造業)
取引先の影響なし(製造業)
国内景気が低迷している(需要の低迷)(製造業)
小松には全くプラスなし(製造業)
金沢だけに留まっている(建設業)
金沢近郊の仕事が余りない(建設業)
市、県、国の全ての公共工事が非常に少ないので、公共工事発注量をもっと増やしてほしい (建設業)
金沢の一人勝ち(小売業)
上期はプラス効果があったが、第3四半期はやや低下(小売業)
但し、加賀温泉旅館の客数増の観点からはプラス要因としてとらえる(卸売業)
関与先の中で、数社売上上昇があるが、業績UPまでいたっていない(サービス業)
小松地区までに影響は少ない(サービス業)
取引先企業に恩恵が少ない状況(サービス業)
南加賀地区では、一部観光、食、サービス業界に恩恵がきている程度(サービス業)
航空旅客の大幅減少(サービス業)
新幹線開業以降、小松空港利用者の激減により、空港路線バスや、レンタカー空港営業所の収入減のマイナスである(サービス業)

## 3. その他

私自身、便利になった(製造業)
今現在余り影響はないが、やがて大きく変わるであろう時のための準備が必要である(製造業)
開業前は開業を見据えた案件もあったが、開業後は効果を踏まえた要件は少ない様に感じる (建設業)
魚などは金沢市場での高値のため、全体的に入荷が少なく、高くなっているのが困る(小売業)
小松空港搭乗者の減少による売上減(小売業)
小松はそんなに交流人口が少ない(卸売業)
金沢で全国大会などがあると客が流れてくる(サービス業)

■現在の景気全般に関して、ご意見をお聞かせ下さい。

下期から売上高が減少している。来年はさらに減少する(製造業)
イメージで言うなら、ヨロヨロ歩く感じに(製造業)
受注先一社のみはダメ。(経済)バランスの狂いを改善する3本足に努力(自己的に)(製造業)
厳しい状況が続くと考える(製造業)
決して良い状況ではない。努力をしている会社、人任せの会社との格差はどんどん広がって洵

汰されないと、努力をしている会社にまで影響が出で来る。(製造業)
景気全般がよいと報道されているが、全く逆の感じです(製造業)
北陸の経済はコマツが不調、その他はまずまず、工作機械は好調、他地域はまだら模様なるも、概ね好調(但し格差拡大)(製造業)
現在のところフル稼働だが、来年は・・・(製造業)
繊維業、及び中小企業という意味では厳しい状況が続くと思う(製造業)
弊社業種は景気に変動がないと需要がない業種なので今後に期待している(製造業)
今後のことはわからない(製造業)
消費税対策による前受注が動き始めている(建設業)
受注はよい(建設業)
先行き不透明である(建設業)
金沢中心の一時的なものを感じる(建設業)
金沢の宿泊、飲食、スーベニー(土産物)等が、一時的なブームで潤っている(小売業)
業種、業界、企業によって明暗が分かれている。一律には判断できない(小売業)
小松市全体に活気、元気がない(卸売業)
消費の低迷、まだ買い控えがあるように思う(卸売業)
今年は新幹線開業や「まれ」等で収入が上昇していると思われるが、来年は大河ドラマ「利家とまつ」の翌年のように、大きな下降線があると思われ、今一度見直しを計る必要があると思う (サービス業)
人口が減少傾向にある時、消費量の増加はなかなか見込めない。また長寿国になるので、生涯の資金がどの程度必要なのか不明。よって消費は抑えられる可能性大(サービス業)
景気はよいが、それに対応する体制がつかれない(サービス業)
国際情勢の不安材料、中国経済の減速等、将来に向けての明るい見通しがなく、景気は次第に悪化するのではと懸念される(サービス業)

■ 他に、商工会議所が取り組む課題やご意見・ご要望などがございましたら、お聞かせ下さい。

景気全般的に停滞していると思(製造業)
市街地の大幅改良工事が必要(製造業)
白山市や他市に対し、県外企業の誘致活動など弱い(製造業)
小松市中心街の活性化(建設業)
イオン建設に伴う市街地道路、排水、既店舗対策の推進(建設業)
受注工事の拡大を感じてきたが、除々に減少していつている(建設業)
新幹線南加賀地区での下請け受注の応援、出来ればお願いしたい(建設業)
イオンに対するトップセールスありがとうございました(卸売業)
食品関係だが、大型店により小売業がだんだん衰退。大型店との共存共栄を模索して欲しい (卸売業)
新幹線の福井延伸までまだ時間があり、少しでも多くの人が小松まで来てもらえる様、魅力のある街づくりが必要かと思う(サービス業)
小松に大企業が多く来てほしい(サービス業)
相続税の基礎控除減、各種贈与税の制度創設がされているが、なかなか諸情勢がきびしく資金が使えないのではと思う(サービス業)
民間(商工会議所)主体の実行力ある観光協会の設立(サービス業)



会議所コメント:

①②③④⑪⑫

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、行政の関連部署や業界団体等と連携を図り、全ての中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施して参ります。

⑤⑧⑨

本所の関係委員会・部会等において今後も議論を踏まえ、地元中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言・確認活動を継続的に実施して参ります。

⑩⑬

小松商工会議所・加賀商工会議所・能美市商工会・山中商工会・川北町商工会から成る南加賀商工観光推進協議会において、引き続き南加賀誘客に力を入れて参ります。